

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月31日

上場会社名 株式会社 赤阪鐵工所
 コード番号 6022 URL <http://www.akasaka-diesel.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 赤坂 全七
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・営業担当 (氏名) 木村 充宏
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 054-685-6081

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,430	△13.1	398	△30.0	404	△29.1	248	△31.9
21年3月期第1四半期	3,948	—	568	—	571	—	364	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	16.23	—
21年3月期第1四半期	23.82	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	17,808	7,805	43.8	509.88
21年3月期	17,465	7,605	43.5	496.79

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 7,805百万円 21年3月期 7,605百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	7.00	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	7,000	△22.5	400	△59.5	400	△60.5	230	△63.3	15.02
通期	13,700	△20.9	650	△61.8	600	△65.7	350	△64.1	22.86

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	15,400,000株	21年3月期	15,400,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	90,932株	21年3月期	90,479株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	15,309,294株	21年3月期第1四半期	15,315,935株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

昨秋以降、世界経済の急激な後退から国内経済も輸出が大きく減少し、景気は大幅に悪化いたしました。ここに来て景気は下げ止まりとの観測もあるものの、企業の厳しい収益環境等を背景に設備投資の減少など、先行きについては楽観を許さない状況にあります。

このような状況の中、当第1四半期の海運業界は運賃の下落や荷動きの減少等により厳しい経営環境を強いられています。一方、造船業界は新規建造案件は大幅に減少しているものの、前年度までの高水準な受注残高を背景に新造船の生産は確保されました。

当社におきましても、当第1四半期の生産高は、期初計画を達成し、船用エンジンを主とした全体の売上高は3,430百万円（前年同期比13.1%減）となりました。利益面においては、収益性の高い部分品及び修理工事の売上も目標を達成、高騰していた材料価格も一部の例外はあるものの落ち着きを取り戻したことなどにより、経常利益は404百万円（前年同期比29.1%減）となり、予定した業績を達成することができました。

※ 当社は平成20年10月1日に連結子会社であった(株)タイクウを吸収合併したため、前第2四半期までは連結財務諸表のみを開示しております。従いまして、1ページ【1. 平成22年3月期第1四半期の業績（1）経営成績（累計）】の「21年3月期第1四半期」は当時の個別財務諸表の値を記載しておりますが、吸収合併後の個別財務諸表と直接比較するのは適当でないと考えられるところから、より比較に適した連結損益計算書を「参考資料」として記載しておりますのでご参照ください。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は17,808百万円となり、前事業年度末に比べ342百万円増加いたしました。主な要因は、売上減少に伴い受取手形及び売掛金（221百万円）が減少した一方、発送間近な製品が多く、製品（127百万円）、仕掛品（119百万円）が増加し、また、新工場建設に当たり建設仮勘定（210百万円）が増加したためです。

当第1四半期末の負債合計は10,002百万円となり、前事業年度末に比べ142百万円増加いたしました。仕事量の減少により支払手形及び買掛金（527百万円）が減少しましたが、契約のタイミングにより前受金（393百万円）が増加し、設備関係支払のための長期借入金（218百万円）が増加したためです。

当第1四半期末の純資産の部は7,805百万円となり、前事業年度末に比べ200百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益（248百万円）の計上、配当金の支払（107百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（58百万円）等によるものです。この結果、当第1四半期末における自己資本比率は43.8%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想の修正に関しましては、平成21年7月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 原価差異の配賦方法

原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦方法については年度決算と比較して簡便な方法で実施しております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

年度中の取得、除却等の見積もりを考慮した予算を策定しており、これに基づいた年間予定償却額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定に関しては、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,364,684	3,325,778
受取手形及び売掛金	4,649,390	4,871,332
製品	127,670	—
仕掛品	3,663,490	3,543,624
原材料及び貯蔵品	638,789	611,057
その他	322,275	219,620
貸倒引当金	△21,435	△25,929
流動資産合計	12,744,864	12,545,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,618,462	1,651,932
その他(純額)	2,287,563	2,194,863
有形固定資産合計	3,906,026	3,846,796
無形固定資産	41,275	45,302
投資その他の資産		
その他	1,170,455	1,082,521
貸倒引当金	△54,603	△54,467
投資その他の資産合計	1,115,852	1,028,054
固定資産合計	5,063,154	4,920,153
資産合計	17,808,019	17,465,637
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,702,916	4,230,356
短期借入金	1,494,524	1,417,360
未払法人税等	165,792	268,833
引当金	166,468	320,092
その他	2,377,254	1,765,336
流動負債合計	7,906,956	8,001,977
固定負債		
社債	209,600	219,600
長期借入金	1,220,728	1,001,978
退職給付引当金	289,147	303,506
役員退職慰労引当金	131,516	128,203
その他	244,338	204,692
固定負債合計	2,095,329	1,857,979
負債合計	10,002,285	9,859,957

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,000	1,510,000
資本剰余金	926,345	926,345
利益剰余金	5,226,458	5,085,361
自己株式	△30,769	△30,861
株主資本合計	7,632,035	7,490,845
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	173,697	114,834
評価・換算差額等合計	173,697	114,834
純資産合計	7,805,733	7,605,679
負債純資産合計	17,808,019	17,465,637

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	3,430,202
売上原価	2,612,885
売上総利益	817,317
販売費及び一般管理費	419,288
営業利益	398,028
営業外収益	
受取利息	1,189
受取配当金	8,489
助成金収入	8,730
その他	4,726
営業外収益合計	23,134
営業外費用	
支払利息	13,839
その他	2,554
営業外費用合計	16,394
経常利益	404,768
特別利益	
貸倒引当金戻入額	4,358
特別利益合計	4,358
特別損失	
固定資産除却損	72
特別損失合計	72
税引前四半期純利益	409,054
法人税等	160,594
四半期純利益	248,460

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	409,054
減価償却費	163,620
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,358
受取利息及び受取配当金	△9,678
支払利息及び手形売却損	15,545
有形固定資産除却損	72
売上債権の増減額(△は増加)	△230,769
割引手形の増減額(△は減少)	452,712
たな卸資産の増減額(△は増加)	△275,268
その他の資産の増減額(△は増加)	△108,869
仕入債務の増減額(△は減少)	△527,439
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,705
その他の引当金の増減額(△は減少)	△164,668
その他の負債の増減額(△は減少)	462,092
小計	185,749
利息及び配当金の受取額	9,967
利息の支払額	△10,471
法人税等の支払額	△259,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△51,500
定期預金の払戻による収入	268,000
有形固定資産の取得による支出	△151,166
無形固定資産の取得による支出	△700
投資有価証券の取得による支出	△537
貸付けによる支出	△735
貸付金の回収による収入	1,657
投資その他の資産の増減額(△は増加)	10,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	75,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	102,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△106,086
社債の償還による支出	△40,000
自己株式の純増減額(△は増加)	△104
配当金の支払額	△1,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	254,351
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	255,405
現金及び現金同等物の期首残高	2,538,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,794,184

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
I 売上高	3,972,848
II 売上原価	2,952,137
売上総利益	1,020,710
III 販売費及び一般管理費	443,752
営業利益	576,958
IV 営業外収益	26,713
V 営業外費用	24,078
経常利益	579,593
VI 特別利益	34,526
VII 特別損失	50
税金等調整前四半期純利益	614,069
法人税等	244,735
四半期純利益	369,334

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△429,393
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	20,331
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	14,592
IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△394,470
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,289,786
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,895,316

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期の生産実績を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
内燃機関関連事業 (千円)	3,403,326
その他の事業 (千円)	169,876
合計 (千円)	3,573,202

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期における受注状況を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
内燃機関関連事業	939,426	15,114,573
その他の事業	169,876	—
合計	1,109,302	15,114,573

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期の販売実績を事業のセグメント別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
内燃機関関連事業 (千円)	3,260,326
その他の事業 (千円)	169,876
合計 (千円)	3,430,202

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。